川崎市建築物環境配慮制度受付番号　24055

建築物名称	(仮称)クリオ川崎柳町計画
建築主	明和地所株式会社　代表取締役　原田　英明 株式会社ウェル・ビーイング　代表取締役　中村　賢
建築物の所在地	川崎市幸区柳町1-7,1-8,1-10,21-3,21-4,21-8,21-9
設計者氏名、建築士事務所名	清野　正裕 株式会社スタイレックス・アーキテクト　一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	5,344.35㎡
用途	共同住宅、自動車車庫、自転車駐輪場
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上15階
工事完了予定年月	令和10年3月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	なし

Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency
CASBEE川崎

評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-川崎2023年版　　使用評価ソフト：CASBEE-川崎2023(v.4.0)

1-1 建物概要

建物名称	(仮称)クリオ川崎柳町計画	階数	地上15F
建設地	神奈川県川崎市幸区柳町1-7,1-8,1-10,21-3,21-4,21-8,21-9	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	131 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年3月　予定	評価の実施日	2025年2月7日
敷地面積	862 ㎡	作成者	株式会社 スタイレックス・アーキテクト一級建築士事務所
建築面積	422 ㎡	確認日	2025年2月7日
延床面積	5,247 ㎡	確認者	株式会社 スタイレックス・アーキテクト一級建築士事務所

1-2 外観　24055

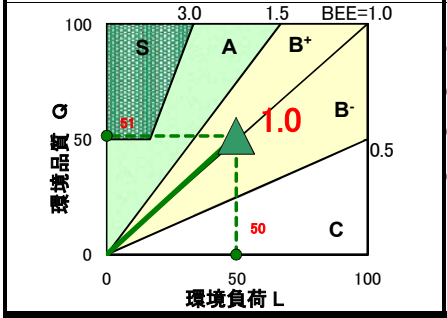
外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

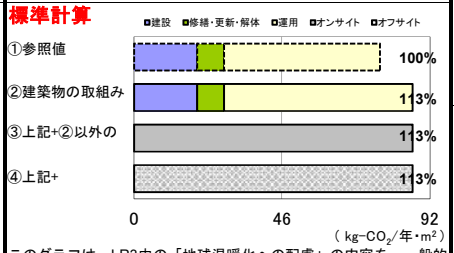
BEE =1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



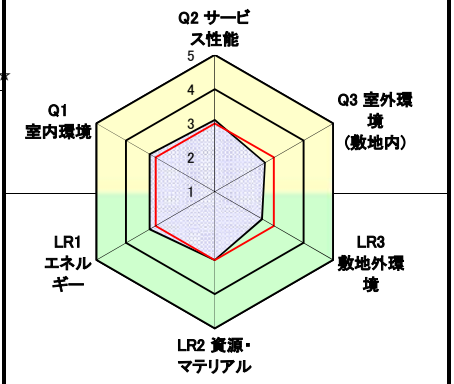
2-2 ライフサイクルCO_2(温暖化影響チャート)

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

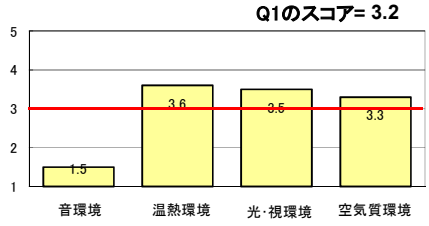
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



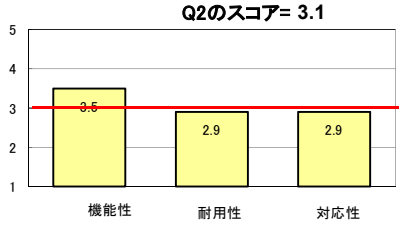
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.0

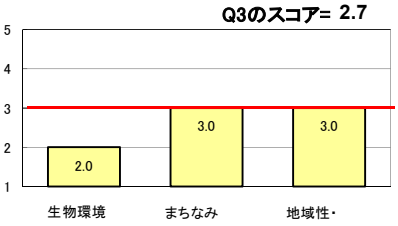
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.2



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.1

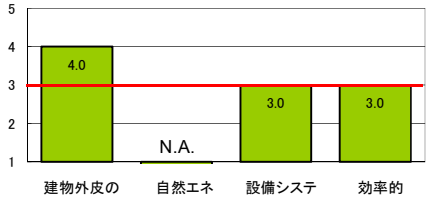


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.7

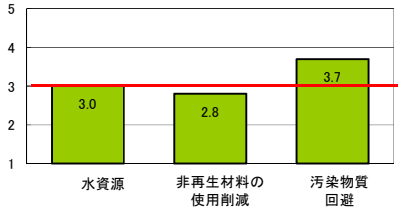


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.0

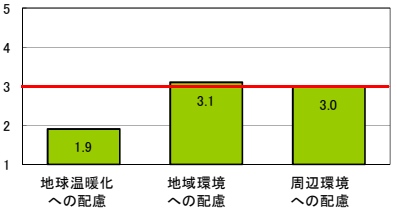
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.2



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.0



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=2.6



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO_2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-川崎2023(v.4.0)

(仮称)クリオ川崎柳町計画

24055

重点項目についての環境配慮概要

内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。	実績重点項目スコア合計/重点項目最高点のスコア合計	重点項目への貢献点 注)(5点満点)
緑の保全・回復(G)		**Gの平均点**	**2.8**
Q-3 ■室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 2 まちなみ・景観への配慮 3 3.2 敷地内温熱環境の向上		2.3/4.3	2.6
LR-3 ■敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		**Wの平均点**	**3.1**
Q-1 ■室内環境対策 2 2.1 2.1.2 外皮性能 3 3.1 3.1.3 昼光利用設備 3.2 3.2.1 昼光制御	仕様基準 カーテン、庇(バルコニー含む)でグレア対策	5.4/7.0	3.9
Q-3 ■室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上		1.1/2.3	2.3
LR-1 ■エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	仕様基準	3.2/5.0	3.2
LR-2 ■資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減 3 3.2 フロン・ハロンの回避	 フェノールフォーム天井/屋根、スラブ	2.8/4.7	3.0
LR-3 ■敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		**Rの平均点**	**3.0**
Q-2 ■サービス性能対策 2 2.2 部品・部材の耐用年数	準不燃ビニールクロス貼 給水(ダクタイル鋳鉄管)、汚水排水(VP)	0.3/0.5	3.1
LR-2 ■資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減		2.3/4.0	2.9
LR-3 ■敷地外環境対策 2 2.3 地域インフラへの負荷抑制	EV用充電設備を導入、カーシェアリング導入(オリックスカーシェア)	0.3/0.4	3.9
ヒートアイランド現象の緩和(H)		**Hの平均点**	**2.8**
Q-3 ■室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	開発事業等の計画に関する事前協議書あり	1.1/2.3	2.3
LR-1 ■エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	仕様基準	3.2/5.0	3.2
LR-3 ■敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善		0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **3.0**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要

内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。	実績スコア合計/最高点のスコア合計	ライフサイクルCO2評価対象項目への貢献点 注)(5点満点)
建設段階			
Q-2 ■サービス性能対策 2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数		0.1/0.1	3.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■資源・マテリアル対策 2 2.2 既存建築躯体等の継続利用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		0.8/1.3	3.0
運用時のエネルギー			
LR-1 ■エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	仕様基準 仕様基準	3.2/5.0	3.2

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

CASBEE-川崎2023年版
(仮称)クリオ川崎柳町計画

■使用評価マニュアル：CASBEE-川崎2023年版
■評価ソフト：CASBEE-川崎2023(v.4.0)　24055

スコアシート　　実施設計段階

配慮項目			重点項目 G	W	R	H	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質												**3.0**
Q1 室内環境									**0.40**		-	**3.2**
1 音環境								**1.0**	0.15	**1.6**	1.00	**1.5**
1.1 室内騒音レベル							―	**1.0**	0.50	**1.0**	0.50	
1.2 遮音								**1.0**	0.50	**2.2**	0.50	
	1	開口部遮音性能					住居部分の遮音特級:T-2	1.0	1.00	5.0	0.30	
	2	界壁遮音性能					―	-	-	1.0	0.30	
	3	界床遮音性能(軽量衝撃源)					―	-	-	1.0	0.20	
	4	界床遮音性能(重量衝撃源)					―	-	-	1.0	0.20	
1.3 吸音							―	-	-	-	-	
2 温熱環境								**1.6**	0.35	**4.0**	1.00	**3.6**
2.1 室温制御								**2.2**	0.50	**4.0**	1.00	
	1	室温					住居部分の空調機器設置なし	3.0	0.63	-	-	
	2	外皮性能		W			仕様基準(住居部分)	1.0	0.38	4.0	1.00	
	3	ゾーン別制御性					―	-	-	-	-	
2.2 湿度制御							住居部分の空調機器設置なし	**1.0**	0.20	-	-	
2.3 空調方式							住居部分の空調機器設置なし	1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境								**2.3**	0.25	**3.7**	1.00	**3.5**
3.1 昼光利用								**1.8**	0.30	**3.4**	0.50	
	1	昼光率					AW-6(代表住戸Etype)昼光率2.5%	1.0	0.60	5.0	0.50	
	2	方位別開口					―	-	-	1.0	0.30	
	3	昼光利用設備		W			―	3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策								**2.0**	0.30	**4.0**	0.50	
	1	昼光制御		W			共用部のSSW-2は庇(バルコニー含む)でグレア対策、住居部分はカーテン、庇(バルコニー含む)でグレア対策	2.0	1.00	**4.0**	1.00	
3.3 照度							主要な居室の照明機器は居住者設置	**3.0**	0.15	-	-	
3.4 照明制御							主要な居室の照明機器は居住者設置	**3.0**	0.25	-	-	
4 空気質環境								**3.2**	0.25	**3.3**	1.00	**3.3**
4.1 発生源対策								**4.0**	0.60	**4.0**	0.63	
	1	化学汚染物質					使用建築材料にはF☆☆☆☆を採用	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気								**2.0**	0.40	**2.3**	0.38	
	1	換気量					―	3.0	0.50	3.0	0.33	
	2	自然換気性能					―	-	-	3.0	0.33	
	3	取り入れ外気への配慮					―	1.0	0.50	1.0	0.33	
4.3 運用管理								-	-	-	-	
	1	CO_2の監視					―	-	-	-	-	
	2	喫煙の制御					―	-	-	-	-	
Q2 サービス性能								―	**0.30**	-	-	**3.1**
1 機能性								**2.4**	0.40	**3.8**	1.00	**3.5**
1.1 機能性・使いやすさ								**3.0**	0.40	**5.0**	0.60	
	1	広さ・収納性					―	-	-	-	-	
	2	高度情報通信設備対応					ギガビットイーサネット(1000BASE－T)の規格を満足することが最低条件	-	-	5.0	1.00	
	3	バリアフリー計画					―	3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性								**1.0**	0.30	**2.0**	0.40	
	1	広さ感・景観					―	-	-	3.0	0.50	
	2	リフレッシュスペース					―	-	-	-	-	
	3	内装計画					―	1.0	1.00	1.0	0.50	
1.3 維持管理								**3.0**	0.30	-	-	
	1	維持管理に配慮した設計					―	3.0	0.50	-	-	
	2	維持管理用機能の確保					―	3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性								**2.9**	0.30	-	-	**2.9**
2.1 耐震・免震・制震・制振								**3.0**	0.50	-	-	
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)					―	3.0	0.80	-	-	
	2	免震・制震・制振性能					―	3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数								**3.1**	0.30	-	-	
	1	躯体材料の耐用年数			R		―	3.0	0.20	-	-	
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔			R		吹付タイル	2.0	0.20	-	-	
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔			R		準不燃ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	4.0	0.10	-	-	
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔			R		亜鉛質鋼板	3.0	0.10	-	-	
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔			R		給水(ダクタイル鋳鉄管)、汚水排水(VP)	5.0	0.20	-	-	
	6	主要設備機器の更新必要間隔			R		潜熱回収型ガス給湯暖房機	2.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性								**2.6**	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備					―	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備					―	1.0	0.20	-	-	
	3	電気設備					―	3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法					消火用補助水槽　水平震度:1.5G	4.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備					―	2.0	0.20	-	-	

3	**対応性・更新性**							3.0	0.30	2.9	1.00	2.9
	3.1 空間のゆとり							-	-	2.8	0.50	
		1	階高のゆとり					基準階の最小階高2.910m	-	-	4.0	0.60
		2	空間の形状・自由さ					―	-	-	1.0	0.40
	3.2 荷重のゆとり							―	-	-	3.0	0.50
	3.3 設備の更新性								3.0	1.00	-	-
		1	空調配管の更新性					―	3.0	0.20	-	-
		2	給排水管の更新性					―	3.0	0.20	-	-
		3	電気配線の更新性					―	3.0	0.10	-	-
		4	通信配線の更新性					―	3.0	0.10	-	-
		5	設備機器の更新性					―	3.0	0.20	-	-
		6	バックアップスペースの確保					―	3.0	0.20	-	-
Q3	**室外環境（敷地内）**								―	0.30	-	-	2.7
1	**生物環境の保全と創出**	G		W			H	開発事業等の計画に関する事前協議書あり	2.0	0.30	-	-	2.0
2	**まちなみ・景観への配慮**	G						開発事業等の計画に関する事前協議書、景観デザインチェックシートあり	3.0	0.40	-	-	3.0
3	**地域性・アメニティへの配慮**								3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上							バルコニーによる、屋内外の緩衝空間、監視カメラあり	3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	G		W			H	―	3.0	0.50	-	-	
LR	**建築物の環境負荷低減性**									-		-	3.0
LR1	**エネルギー**								―	0.40	-	-	3.2
1	**建物外皮の熱負荷抑制**			W			H	仕様基準	4.0	0.22	-	-	4.0
2	**自然エネルギー利用**			W			H	―	-	-	-	-	-
3	**設備システムの高効率化**			W			H	仕様基準	3.0	0.56	-	-	3.0
4	**効率的運用**								3.0	0.22	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価								-	-	-	-	
	4.1 モニタリング			W			H	―	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制			W			H	―	-	-	-	-	
	集合住宅の評価								3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング			W			H	―	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制			W			H	―	3.0	0.50	-	-	
LR2	**資源・マテリアル**								―	0.30	-	-	3.0
1	**水資源保護**			W		R			3.0	0.20	-	-	3.0
	1.1 節水							台所用混合水栓　節湯B	3.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用								3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無							―	3.0	1.00	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無							―	-	-	-	-	
2	**非再生性資源の使用量削減**								2.8	0.60	-	-	2.8
	2.1 材料使用量の削減			W		R		―	2.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			W		R		―	3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			W		R		―	3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			W		R		押出法ポリスチレンフォーム保温板_スラブ	3.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			W		R		―	-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			W		R		―	3.0	0.22	-	-	
3	**汚染物質含有材料の使用回避**								3.7	0.20	-	-	3.7
	3.1 有害物質を含まない材料の使用							―	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避								4.0	0.70	-	-	
	1 消火剤			W				スプリンクラー設備	-	-	-	-	
	2 発泡剤（断熱材等）			W				フェノールフォーム天井/屋根、スラブ	5.0	0.50	-	-	
	3 冷媒			W				共用部 空調設備の冷媒R32	3.0	0.50	-	-	
LR3	**敷地外環境**								―	0.30	-	-	2.6
1	**地球温暖化への配慮**			W				―	1.9	0.33	-	-	1.9
2	**地域環境への配慮**								3.1	0.33	-	-	3.1
	2.1 大気汚染防止							―	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	G		W			H	―	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制								3.5	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減					R		―	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制					R		―	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制					R		EV用充電設備を導入、カーシェアリング導入（オリックスカーシェア）	4.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制					R		一般廃棄物保管施設設置等事前評価・協議書あり	4.0	0.25	-	-	
3	**周辺環境への配慮**								3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止								3.0	0.40	-	-	
	1 騒音							―	3.0	1.00	-	-	
	2 振動							―	-	-	-	-	
	3 悪臭							―	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制								3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制							―	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制							―	-	-	-		
	3 日照阻害の抑制							―	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制								3.0	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策							屋外広告物は設けていない	3.0	0.70	-	-	
	2 昼光の建物外壁による反射光（グレア）への対策							―	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0		○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	5.0		-	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-		○	-	-	-	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	1.0		-	-	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	5.0		-	-	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-	1.0	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	-	-	1.0	1.0	-	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	6.0		-	1.0	-	1.0	-	-	-	2.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	-		-	-	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-			-	-	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	6.0		-	-	-	-	1.0	1.0	-	1.0	3.0	-			
2.3.3 交通負荷抑制	3.0		-	1.0	1.0	-	-	1.0							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	4.0		1.0	1.0	1.0	1.0		-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0		-	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能
窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) -
U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 -
住戸部分ステムU値 - 外皮UA値 - ηAC - ηAH -

3.1.1 昼光率
昼光率 2.5%

4.2.2 自然換気性能
自然換気有効開口面 0.0%

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性
執務スペース .0㎡/人 病床 .0㎡/床 シングル .0㎡ ツイン .0㎡

1.1.2 高度情報通信設備対応
コンセント容量 0.0 VA/㎡

1.2.1 広さ感・景観
天井高 0 m

1.2.2 リフレッシュスペース
リフレッシュスペース 0.0% レストスペース 0.0%

2.2.1 躯体材料の耐用年数
想定耐用年数 0 年

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔
想定必要間隔 0 年

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔
想定必要間隔 20 年

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔
想定必要間隔 0 年

3.1.1 階高のゆとり
階高 2.91 m

3.1.2 空間の形状・自由さ
壁長さ比率 0.0%

3.2 荷重のゆとり
床荷重 ー N/m2

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出
外構緑化指数 18% 建物緑化指数 6%

3.2 敷地内温熱環境の向上
空地率 51% 水平投影面積率 9% 地表面対策面積率 14% 舗装面積率 0%

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制
BPI/BPIm -断熱等性能等級 等級4 相当

2 自然エネルギー利用
自然エネルギー直接利 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0%
通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%

3 設備システムの高効率化
BPI/BPIm 非住宅 - 住宅 - 太陽光 .0kW 太陽熱等 .0kW 蓄電池 .0kW

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無
雨水利用率 0.0%

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用
特定調達品目 押出法ポリス エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -

2.5 持続可能な森林から産出された木材
使用比率 0.0%

3.2.1 消火剤
オゾン層破壊係数((地球温暖化係数(GWP)

3.2.2 発泡剤(断熱材等)
オゾン層破壊係数((0 地球温暖化係数(GWP)

3.2.3 冷媒
オゾン層破壊係数((0 地球温暖化係数(GWP) 675

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善
見付面積比 #DIV/0! 隣棟間隔指標Rw -
地表面対策面積率 28.0% 屋根面対策面積率 #DIV/0! 外壁面対策面積率 #DIV/0!
見付面積Sb ㎡ 風向と直交する最大敷地幅Ws 0 m 基準高さHb 0 m
緑地 16㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡